



八戸高専だより

独立行政法人 国立高等専門学校機構

八戸工業高等専門学校 発行

〒039-1192 青森県八戸市田面木字上野平16番地1

TEL 0178-27-7223 (総務係)

FAX 0178-27-9379

E-mail somu-o@hachinohe-ct.ac.jp

URL <https://www.hachinohe-ct.ac.jp/>

第164号

令和5年8月



令和5年度入学式



自主探究 Activity 2



バレーボール部



卓球部

目次

誠実・進取・協調	1	国際交流・グローバルエンジニア育成に向けていざ出陣!	15
3主事から	2	男女共同参画委員会から	16
新入生紹介	3	図書館の今年度の予定	16
1学年主任から	7	キャリア教育・学習支援センターから	17
授業参観日を終えて	7	令和4年度 学年学業成績優秀賞、三ヶ年皆勤賞	19
専攻科新入生紹介	8	第60回 東北地区高等専門学校体育大会結果一覧	20
今年の編入生・留学生紹介	9	「保護者の声」設置について	22
新任教職員紹介	11	授業料等の納付について	22
北辰寮から	13	学生課学生係からのお知らせ	22
相談室より	14	令和5年度 公開講座	22

誠実・進取・協調



八戸工業高等専門学校長

土屋 範 芳

2023年4月から八戸工業高等専門学校の校長に
着任いたしました。前職では、東北大学の環境科
学研究科で教育と研究に携わってきました。専門
は資源工学―地球工学です。聞きなれない分野か
もしれませんが、私自身は、地質学をベースとし
て資源やエネルギーの問題に取り組んできました。
産業発展の初期段階で、鉱業、鉱山業は必須
の工業分野となります。探査（どこに金属資源や
石炭・石油資源があるか）採鉱（どうやって採る
か）、選鉱（どうやって鉱石や鉱物を分別・分離
するか）、そして製錬（どうやって金属の純度を
上げるか）は、非常に広い範囲の工学を必要とし
ており、鉱業の発展は、産業の基盤、国の基礎と
なるものです。明治維新後の日本は殖産興業に取
り組みましたが、それは鉱山業をベースとして、
最終的には製鉄までの産業の基盤をととのえるも
のでした。工業を基軸とする産業構造は日々進化
していきます。鉱山業を基盤としていた国々は、
その次には車等の製造業、そして半導体産業など
が中心となり、国や産業の発展とともに鉱業の占
める位置は相対的に低くなっています。産業の発
展、国の成長とはそういうものだと思います。中
心分野を次々と変えながら、工業は常に、より広
く、より鋭くなっていきます。つまり技術は常に
進歩し、また全く新しい概念の技術の創造も必要
となってきています。その一方で、先端を支える
しっかりとした基盤技術もしっかりと維持してい
く必要があります。ものづくりの基礎がなければ、
何も前には進めません。絵に描いた餅、砂上の楼
閣となってしまいます。汎用化し、先鋭化し、絶
え間なく進化し続ける工業・技術とそれを支える
基盤技術、この調和がなければ、健全な、また持
続的な発展は望めないでしょう。基盤技術の継承
と発展、そして先端技術の開発、それらを調和さ
せ、次世代の人材を育てていく、そういう機能を
高専は社会から求められているのだと、私は思っ
ています。

八戸高専は本年創立60周年を迎えました。高度
経済成長を支える中堅技術者の養成、社会に役立
つ即戦力技術者の養成、そういうたい文句が60
年前の書類から読み取れます。たしかにその時の
時代背景から、高専は生まれました。しかし60年
がたち、時代は大きく変わっていますし、産業構
造も変革を余儀なくされています。カーボンニュ
ートラルだとか、SDGs（持続的開発目標）だとか、
社会目標も変わり、そして市場のグローバル化、
温暖化など、まさしく地球規模の問題に対して個
人も、個々の企業も、解決策を示さなければいけ
ない時代になってきました。

本校の校訓である「誠実・進取・協調」はとて
もいい言葉だと思います。私利私欲をまじえず、
真心をもって人や物事に対すること。進んで前例
の無い物事等に取り組むこと。そして独りよがり
にならず絶えず社会や周りとの協力を大切にする
こと。本校のこの校訓は、人として、また社会の
中での大きな目標を示していると思います。

工業をしっかりと支える人材を養成しつつ、次
の社会を創造する未来技術を作っていく、そして
そのバランスをよりよくとっていく。高専に期待
されることは大きいと思います。「誠実・進取・
協調」、人としての誠実さはもちろんのこと、高
専としての誠実とは信用に裏うちされた専門家と
しての真摯な取り組みだと思います。進取とは創
造性を高めて新しいことに積極的に挑んでいくこ
とだと思います。そして協調とは、周りや地元は
もちろんのこと、広く視野を広げて国際的な協力
を築いていく、それがこれからの八戸高専の校訓
の展開になるのではないのでしょうか。

八戸高専は還暦を迎えました。これまでも、こ
れからも「誠実・進取・協調」の校訓を胸に刻ん
で、社会に貢献する高等教育機関であり続けたい
と考えています。

引き続き、皆様方からのご支援を賜りますよう、
よろしく願い申し上げます。

3 主 事 か ら

教務関係のご連絡

教務主事

馬 淵 雅 生

今年度から教務主事となりました。非力ですが最善を尽くしたいと思っておりますので、どうかよろしくお願いいたします。

5月8日から、新型コロナへの対応はインフルエンザへの対応と同様になりました。授業形態は平常の形に戻り、コロナ禍では控えていたグループワークを推奨しております。学生には、以前にも増して積極的な授業への参加を求めたいと思います。教員の話をも黙って聞いてノートだけをとり、試験前にまとめて勉強する学生がよく見られますが、これはとても効率の悪い勉強法です。授業で教員に質問をし、友人と議論をして理解することが効率的な勉強法です。このことを、ご家庭でもお話していただければありがたく存じます。

この号が届く頃には、夏学期の到達度試験が終わっているでしょう。成績が振るわなかった科目で補充試験を受ける場合には、夏休み中にもう一度よく復習してから受験してもらいたいと思います。また、本校の進級要件に、2年生から3年生への進級に英検準2級の取得、4年生から5年生への進級にTOEIC400点以上が課されていますので、これらの要件を未達成であれば、夏休み中の勉強が必要です。

夏休み中には、自主探究も進めて欲しいと思います。実験や観察を行うチャンスです。学生のみなさん、有意義に過ごしてください。

厚生補導関係のお知らせ

学生主事

菊 地 康 昭

保護者の皆様におかれましては日頃からの学生教育へのご理解、ご支援を賜りまして誠にありがとうございます。

さて、今年度の実践目標は、「(1) 夢を実現する実行力を身に付けよう、(2) 自分の言動に責任を持つよう～SNSの使い方に気を付けよう～、(3) 他者を知り自分を知ろう～多様性を認め合おう～」です。中でも(2)では、twitterやLINE等のSNSへの投稿には注意が必要であり、投稿が自分の意に反して拡散してデジタルタトゥーとして一生消えずに残り、その後の人生に悪影響を与える危険

性があることをよく認識することが重要です。送信ボタンを押す前によく考える必要があります。一方、(3)では、自己の認識のためには他者との交流が重要であることは勿論のこと、同時に多様な考えを持つ人間がいることを否定せず、互いを認め合い尊重することが重要です。クラスの中だけでなく、課外活動やボランティア活動など色々な活動を通じてより多くの他者との交流を持ち、自分の視野を広げて頂きたいです。

コロナが第5類となり、感染状況も落ち着いてきていますので、学生の生活もコロナ前に戻ってきていると思います。学生の皆さんには勉強や課外活動などの色々な活動を通じて実りある学生生活を送って頂きたいと思います。保護者の皆様におかれましてもご支援の程、よろしくお願いいたします。

寮からのお知らせとお願い

寮務主事

松 本 克 才

本年度も引き続き寮務主事を務めることになりました。よろしくお願いいたします。日ごろは寮の運営等にご協力をいただき、有難うございます。

昨年秋に運用が始まったN棟を始め、混住型国際寮は、現在、E棟、I棟を含め、3棟になります。また本年度は新しいC棟（仮名称）の建設を予定しており、完成の際には、寮生の半数以上が国際寮に入居する予定です。

これに伴い、本年度から小食堂が閉鎖され、すべての寮生が大食堂で食事をとることになりました。寮生には混雑回避で不便をおかけすることになりました。始まった当初はかなりの混雑がみられましたが、時間帯を調整することで、なんとか平常に戻りつつあり、ご協力に感謝しています。これから工事が本格化すると更なる不便をおかけすることになりますが、ご協力をお願いいたします。

さて、本年度から入寮した学生の皆さんは、初めて親元を離れ、共同生活を始めています。この生活は自由が利かないことが多く、不便に思うことも多々あると思いますが、本寮は皆さんの自立と社会適応能力を育成する場所と考えていますので、自分勝手な行動は慎み、周囲に気を配れる立派な人間に成長することを期待しています。

寮生・保護者の皆様には今後もご迷惑・ご心配をおかけすると存じますが、ご理解・ご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

新時代へ幕開け

L1担任 吉田 雅 昭

今年度のL1には、タイからの4名の留学生をはじめ、国際的エンジニア育成特別選抜などにより、全国各地から新入生を迎えることができました。私はこの記念すべき新時代の幕開の年に1学年の担任ができることを非常に嬉しく思います。本校は、普通の高校と異なり、高専です。いろいろな特徴があります。入学前のSTEAM教室などでも既にご存じの方が多いとは思いますが、自由度の高い学習機会が魅力です。その最もユニークな学習活動に自主探究があります。自主探究とは、まず、自分でテーマを設定し、仮説を立て実験をします。そして、その実験結果を考察し、データやグラフを示しながら、結論を導くことです。この活動は全学生が8年前から行ってきました。この活動を通じて、工学を学ぶための基本姿勢が身に付きますので、社会からも高く評価され、本校独自の重要な学習に位置付けられています。これまで、他人から強制的に勉強させられた人は、学習スタイルを少し変更しなければなりません。自ら課題を探して行動するには、少し時間がかかるかもしれませんが、高専生活に早く慣れて、自立できるように努力してください。今年は、近年のコロナ禍で閉ざされていた海外留学が再開されます。私は担任の傍ら、国際交流の準備でも忙しく過ごしています。今年1月はモンゴル、3月はタイへ行ってきました。さあ、一緒に海外に飛び出し、国際自主探究をしに出かけましょう。これからも、どうぞよろしく願いいたします。



期待と不安の新生活

電気情報工学コース1年

渡 邊 航士郎

(高槻市立第九中学校出身)

時の流れは早く、私たち1年生が入学してから既に2ヶ月が経ちました。八戸高専に入学してから、ついこの間まで通っていた中学校とは大きく異なる生活が始まりました。新しい土地、新しくできた友達、新しい寮生活など私の高専生活はすべてゼロから始まりました。最初は不安でいっぱいでしたがL1のクラスのみんなは大変優しく、授業で分からない所があっても、分かりやすく教えてくれます。クラスは非常に雰囲気が良いと思います。また、八戸高専では学生一人一人が1つのことに対して探究し、その成果を聴衆の目の前で発表する「自主探究」があります。今後は、その様な八戸高専独自の活動にも積極的に取り組んでいきたいです。

笑顔の高専生活に向けて

環境都市・建築デザインコース1年

山 本 藍 里

(山形大学附属中学校出身)

入学し、そして、八戸に来て約2ヶ月が経ちました。私のひねくれた(?)性格のお陰で、友達が1人も出来ないのではないかと不安と恐怖にのたうち回っていた春でした。しかし、時間の経過とともに仲良くできそうな人も増え、この心配は徐々に解消されていきました。今の心配は、勉強へ移りその不安と恐怖と格闘しているところです。特に、英語の暗唱文や数学の公式には「なんだお前」とつぶやきながら、友達と必死に、切磋琢磨し、毎日の課題だけでなく、自学自習にも力を注いでいます。これからは、部活動が本格化し、人間関係、勉強と本当に忙しくなるでしょう。私は笑顔を絶やさず、これからも全力で高専生活を楽しまたいと思います。

近くからも遠くからもようこそ！

L2担任 齋 麻子

令和5年度L2がスタートしました。私にとって何度目の1年担任となるのでしょうか。すでに両手では数えきれないほどとなりました。すべてを数えるのは断念して、久々に2年担任をしたのは、平成27年度でしたので、翌28年度から今年度まで8年も1年担任を続けています。

さて、連続記録更新中の1年担任経験の中で、「最も遠くからようこそ！」は何ととってもタイの留学生たち。母国を離れて、言葉の通じない日本での生活を切り抜けてサバイブしていく姿に脱帽です。国内の新入生で一番の遠方だったのは、まさに平成28年度入学の宮崎県からやってきた学生です。その学生は、家族で青森県に転居してきたので、寮生ではありましたが、「家族と遠く離れて寂しい」ということはあまりなかったのでは？と、想像します。高専生活を充実したものとして謳歌して立派に卒業しました。

入試制度変革の今年は例年よりも遠方入学者が多い傾向にあります。このクラスにも宮城や栃木からの学生がいます。4月当初、家族も友人もいない、誰も知らないこの八戸に来て、寂しさに押しつぶされるのではないかと、担任としては心配していました。ですが、こちらの心配とは異なり、案外、楽しく、逞しく、過ごしているようです。方言という言葉の壁と、少しのホームシックにぶつかりながらも、徐々に言葉と文化の壁を乗り越えて、異文化を楽しんでいるようにも見えます。これまで一人では乗車したことのない新幹線で帰省するなどちょっとずつ大人の階段を上っているようです。

八戸市民の学生今年の傾向としては、自転車通学が多くみられます。高専までのキツイ坂道を自分の足で、自分の力で登校しています。そこに「自立しようとする」力強さを感じます。

遠くからでも近くからでも、せっかく同じクラスに集ったメンバーです。もちろん八戸市民が大多数を占めますが、津軽地方から、岩手から、遠方からと、異なる地域から合流した人たちとのちょっとした異文化交流を楽しんで受容しながら、少しずつ力強く一歩ずつ自立して行ってほしいと思います。

春学期を終えて

機械・医工学コース1年

古川 玲奈

(八戸市立長者中学校出身)

春学期は、クラスメイトや、先生方、先輩方に支えられた2ヶ月でした。

授業時間は50分から90分になり、高専ならではの専門授業があるなど、毎日が新しい体験で、不安もかき消されるほど忙しい日々でした。しかし、そんな中でも毎日が楽しいと思えたのは、クラスのみんなのおかげだと思います。

八戸高専はとても自由な学校です。留学に行きたい、勉強を教えてもらいたい、こんなことを研究したいなど思った時には、先生方、先輩方が相談に乗ってくれます。一人ではできないことも、自分から行動することで、多くの人から助けてくれるのだと分かりました。

今後も、互いに助け合い、高め合う、充実した学校生活を送りたいと思います。

高専に入学して

マテリアル・バイオ工学コース1年

細 島 蓮

(真岡市立真岡東中学校出身)

入学してから、2ヶ月が過ぎ、夏学期が始まりました。

初めての90分授業やスピードの速さなど、今までとは違う環境に戸惑うこともありましたが、新しい仲間とも打ち解け、毎日が充実しています。

L2クラスは、楽しむ時と勉強する時のメリハリがあり、とてもおもしろく雰囲気の良いクラスです。みなと話す時間を1秒でも長くし、より良い人間関係を築いていきたいと思っています。

遠いところから来た僕が、こうして新しい場所で、新しい仲間と学校生活を送れることに感謝しながら、一日一日を大切に過ごしていきたいです。

春学期は高専生活体験版

L3担任 丹 羽 隆 裕

気がつけばあっという間に3ヶ月。つい最近入学式を終えたばかりだと思っていたら、暑い暑いと言いながら授業を受ける季節に。歳のせいなのか私にとってはあっという間、しかしL3のクラスメイトにとってはどんな3ヶ月だったのかと、想いを馳せる今日この頃です。

L3は良いクラスになったと思います。仲の良い友人同士の強固なネットワークはもちろんですが、クラス全体が「ゆるく」つながりを持っているのは良いことです。クラス全員と仲良くという姿はある種の理想ですが、そうもいかないのが人間らしさというもの。ここぞという時に協力ができれば、普段のつながりはゆるくても良いものです。

これから学ぶ工学は、今も昔も人間の原動力そのものであり、人間が人間のために作り上げた学問です。つまり工学の向こう側に常に人が存在します。その意味で言えば、誰かが喜ぶのを見て一緒に喜び、誰かが悲しんでいるときに一緒に泣き、誰かが苦しんでいるときに手を差し伸べて一緒に乗り越えていけることは、ある意味で言えば勉強の出来不出来よりも、成績の良し悪しよりもはるかに重要で、5年間でぜひ身につけるべき心構えです。

「春学期は高専生活体験版」—入学後、初めてのホームルームで学生に伝えた言葉です。初めての環境ではじめから上手くいく人なんてごくわずか。通学も、寮生活も、90分に及ぶ授業も試験も、まずは色々試してみて、と。そんな「高専生活体験版」を終えたL3のクラスメイトは皆、どこか残っていた中学生の面影が薄れ、ようやく高専生になったように見えます。一回り大きくなった成長の証です。人を思いやり、自分を思いやることができる人であるように、これからも陰になり日向になり見守っていきたいと思います。



今までとは違う生活

電気情報工学コース1年

一 森 心

(八戸市立第一中学校出身)

入学してから二ヶ月が過ぎ高専生活にも慣れてきた。しかし今までとは違う生活に最初は不安でいっぱいだった。

まず中学校生活と違う大きな点は90分授業だろう。慣れないうちは授業を最後まで聞くのがつらかった。他にも専門教科や授業の進みが早いことなどとても苦労した。

しかしそれも日が経つにつれて慣れていき、仲のいい友達もできた。授業もしっかりと復習すれば対応できることが分かった。初めての到達度試験では普段よりも勉強してテストに臨む事が出来た。そのおかげもあって自分が予想していた点数よりも高い点数を取る事が出来た。

これからの高専生活も楽しんでいきたい。

素晴らしい仲間と切磋琢磨する高専生活

環境都市・建築デザインコース1年

沢 木 寛 弥

(青森市立佃中学校出身)

八戸高専に入学して2か月がたちました。私は、親元から離れて寮生活をしています。はじめは、洗濯や掃除など自分の身の回りのことなど、普段やりなれていないことで戸惑いましたが、先輩からアドバイスをもらいながら、今では段取りよく清潔に寮生活を送っています。私は、これからの生活の抱負が3つあります。

1つ目は、学ぶことです。中学校の時とは違い、高専では新しく学び、覚えることがたくさんあります。そこで私は、学ぶことを大切に、予習復習をしっかりしていきたいです。そして、このL3でたくさんの方の事を学び将来に生かしていきたいです。

2つ目は、部活です。私は、小中学校でバスケットボールをやっていたので、高専でも続けてバスケ部を盛り上げて高専大会で優勝したいです。

3つ目は、友情です。高専では、いろいろな中学校から集まってきて、ほとんどの人が初めて会う人でした。化学が得意な人、地理が得意な人、物理が得意な人などいろんなタイプの人がいる中で、それぞれのいいところを引き出しあって、すばらしい仲間と切磋琢磨し、有意義な高専生活を送りたいです。

コロナ禍が明けて再スタート

L4担任 川 端 良 介

今年度の1年生は新型コロナウイルスの影響がある中で高専生活がスタートしたものの、入学式の段階でマスクの着用が任意であり、5月8日の5類感染症への移行により、2019年以前の生活に戻りつつあります。

一方、勉学に関しては、全日制の高校に比べると進むスピードが速く、課題も非常に多いため、学生も苦勞している姿をよく見かけます。

勉学だけではなく、人間関係に関しても同様ですが、苦勞しながらもお互いに助け合い、支えあえるようなクラスにしていきたいと思います。

また、私が1学年の担任をするときには必ず達成したいと考える目標があり、

- ① クラス全員が進級する
- ② 高専で5年間過ごすための下地を作る
- ③ 1年を通して厚生補導委員会（学生指導）のお世話にならない

をL4クラスの学生とともに達成したいと考えています。

今年度担任として学生と関わる機会をいただいたのですが、私自身もまだまだ未熟であるため、学生とともに成長できればと思います。保護者の皆様には色々ご迷惑をおかけすることがあるかもしれませんが、1年間よろしくお願ひします。



高専生活スタート

電気情報工学コース1年

小 川 月 羽

(八戸市立江陽中学校出身)

入学してから早くも2ヶ月が過ぎ、夏学期が始まりました。高専生活が始まり、授業スピードの速さや新しい環境の中での生活に戸惑うことも多くありました。しかし、徐々に新しい仲間たちと打ち解け、楽しい学校生活を送れています。

高専は専門的な知識・技術を深く学ぶことができ、1年毎に自分でテーマを決めて、自主探究できる学校です。一方、自分自身が怠けているとその責任はすべて自分に降りかかってきます。そのため、5年もの時間を無駄にすることが無いように、向上心を持って学んでいきたいと思っています。また、これから先の進路についてイメージしながら、学校生活を過ごしていきたいです。

夏の気配

機械・医工学コース1年

小 田 桐 萌 依

(苫小牧市立凌雲中学校出身)

高専に入学して、あっという間に春が終わり、汗ばむ日も多くなってきました。春学期のテストも終わり、新しい科目も始まりました。中学校の時より、勉強の進行が速かったり、課題も多かったりと初めは困惑してしまい、これからしっかりやっていけるのかと不安になることもありました。同じクラスの友達や、同じコースの仲間と学校生活を共にするにつれて、不安よりも、期待が大きくなっていきました。今後は、勉強にも力を入れると共に、学生という人生の中でも限られた時間を最大限活用できるように、視野を広げて、様々なことにチャレンジできるようになりたいと思います。

1 学年主任から

マスクを外した君たちへ

第1学年主任 齋 麻子

先生の 名前をググる 「こんな顔
しているんだ」って それだけけど
三 浦 くもり

先日（5/28）NHKスペシャル「響きあう歌～コロナ禍 喪失と再生の物語～」の中で紹介された短歌。どうやら今、空前の短歌ブーム到来。短歌とは、五・七・五・七・七の31音で構成される日本の伝統的な韻文です。

コロナ禍中、行動制限を強いられた人々が、自身の心を短歌という31文字に込めるのが流行り出しました。31文字の韻文よりも、「制限」のない散文の方が自由に表現できるはずなのに。なぜ人々は、「制限」のある韻文を楽しみだしたのでしょうか。行動制限を強いられ、「制限」の中、もがいた3年間。苦しいだけよりも、その中で「自由」を勝ち取る方が楽しいのでは？と、気づいた人たちが多くいて、韻文に自身の心の発露を表したのではないのでしょうか。どうせならば、苦しむよりも楽しむ方が良いに違いないということ。

さて、同じくNHKスペシャル「アフターコロナ 人に会うのがツライ～科学で解明！心の真実～」が6/4に放映されました。新型コロナウイルス感染症を【5類相当】と位置づけ、マスク着

用は個人判断となり、行動制限もずいぶんと緩やかになりました。これまでの3年間、行動制限を強いられ、時には登校できず、遠隔で授業を受けざるを得なかった若者たち。番組では、行動制限を強いられた末に「人に会うのがツライ」と心の異変を訴える大学生に焦点を当てていました。

本校1年生の場合は、中学校生活3年間をまさに「コロナ禍」の行動制限に巻き込まれたカタチです。くだんの大学生と同様の状況かどうかはさておき。1年生は制限を解かれたのとはほぼ同じくして高専に入学しました。だからでしょうか？ほかの学年に比べ、やけに陽気な人が多いように感じます。これまでの中学時代は「冬眠」で、今「啓蟄」の時期を迎えたかのように見えます。

マスクに隔たれて、ソーシャルディスタンスに阻まれて、クラスメイトとの関係性を上手く構築できなかったかもしれない中学時代を経て、高専という場で一生懸命に取り返そうとしているように見えます。これからの高専での5年間をマスクを外して得た「自由」と、未来を見据えて自律（自立）すべく取り組む「制限」とを、自在に行き来して、制限の中で自己表現をする短歌のように、有意義な高専生活を送ってください。ぜひセッションを謳歌してほしいと願っています。

授業参観日を終えて

教務主事補 細 川 靖

今年は春学期の4月29日（土）に無事、保護者参観日が実施できました。昨年はコロナ感染対策のため中止となり、夏学期まで実施できませんでした。新型コロナウイルス感染症の5類移行が目前となったためか、今回授業参観に参加された保護者は269名と、令和3年の227名、令和元年の153名を上回る人数となりました。お忙しい中、参観いただいた皆様に厚く御礼申し上げます。皆様からのアンケート結果からは「楽しそうに授業

を受けている」や「子供たちがいきいきしていた」などの感想があった一方、実験実習などで「授業場所が見つけられない」や「教室後ろが空いておらず参観しづらかった」といったご指摘もあり、ご指摘事項を全教員で共有して授業改善に努めてまいります。今年は秋学期の11月6日（月）から10（金）もオープン授業週間を設定しております。今回参観できなかった保護者の皆様にも、ぜひ参観いただき、ご意見を賜れば幸いです。

専攻科での生活

機械システムデザインコース1年
小笠原 照 悟

本科から専攻科に入学し、新たな学校生活が始まりました。研究に没頭する時間が増えると思っていましたが、専攻科一年生は授業や課題が多く、内容もより専門的になっているので、研究との両立がとても難しいです。そして、このように活動が制限されている中でやらなければいけないことをやるので、時間を有効的に活用する力がとても重要になってくると思います。

専攻科の生活が始まって、実験や課題、研究、アルバイトなどに追われ、とても大変な毎日ですが、自分自身の力や、社会に出てからの自信というのも身につけることができるいい環境だと感じています。

二年間という限られた時間の中ですが、やるべきことはやり、楽しめるところではしっかりと楽しむということを意識しながら、充実した時間を過ごしたいと思います。

専攻科での日々

マテリアル・バイオ工学コース1年
ナンナパット ニンラット

本科から卒業し、専攻科に入学してから早くも3ヶ月が経ちました。専攻科に進学してからの3ヶ月では、新たな知識と刺激に満ちた日々を過ごしました。入学当初はクラスの友達が減り、不安を感じることもありました。しかし、嬉しいことに、他のコースの人々と一緒に授業が増え、新しい交流機会が増えてきました。お互いの専門知識や視点を共有し合うことができるため、これは専攻科生活の魅力の一つであり、成長の機会でもあります。2年間の専攻科では、専門知識を深め、研究に集中し、学会や連携活動に積極的に参加します。また、自己成長を促すためコミュニケーション能力やリーダーシップスキルを磨き、自身の研究成果アイデアを的確に伝える力を身につけ、社会に影響を与える人材を目指します。これからの2年間で、バランスの取れた学生生活を送る期間とするよう心がけます。

将来のために

電気情報システム工学コース1年
川 村 澁 渉

3月に本科を卒業し、1回目の入学式とは、立場も心意気も変化して迎えた2回目の八戸高専での入学式から3ヶ月が経ちました。本科と同じ環境で勉学や研究に励むことができると考え、専攻科への進学を決めました。本科に比べ、勉学にも研究にも自主性が求められるようになりました。

私は、専攻科在学中に、専門知識を深め資格試験を取得すること、自分の特性と将来を見つめることを大事にしたいと考えています。今秋には、学外研修として、フランスへ留学をします。留学を通して、専門技術や語学力の習得だけでなく、アイデンティティを確立したグローバルな人間になりたいと考えています。

来年度には卒業式を迎える短く濃い専攻科での2年間で、全力で楽しみたいと思います。そして、自分が選んだ道が正解だったといえるように、日々努力をしていきたいと思っています。

今後への希望

環境都市・建築デザインコース1年
今 泉 有 人

八戸高専で勉学を学び始めてから、早くも6年目となりました。同じ環境であるため新鮮さはありませんが、それが専攻科の特権だと感じています。専攻科は研究・課題で想像以上に忙しい日々ですが、本科に比べ自由な活動時間も増えました。慣れた環境で集中して勉学に励みつつ、制限のない時間で特別研究を行うことができ、とても有意義な日々を過ごしています。

すでに1回学会発表に参加させていただきました。仙台やポルトガルなど、私は今年度あと3回の学会発表を予定しています。様々な場所に赴き、新しい経験をする機会が増え、自分を高めることができるという希望に胸を膨らませています。

専攻科2年間を経て、私は大学院への進学を考えています。これから2年間という短い期間ではありますが、後悔することのないよう、より有意義な時間を過ごせるよう努めてまいります。

高専での生活のこと

電気情報工学コース3年
シアサナロー ラオフースン
(ラオス)

はじめまして！ シアです。ラオスから来ました。八戸高専では楽しく2ヶ月ぐらい勉強してきました。高専に来る前に、先輩に今後の準備することについて良い相談に乗ってもらいました。高専の生活は楽しくて、困ることがあったときには先生や友達に助けてもらいました。寮の食堂では美味しい日本食を食べられますが、私は外国人なので、食事が口に合わないこともあります。毎日、面白い授業を受けています。私の興味を湧き立たせることとして、図書館や実験実習などがあることです。なぜなら、実験内容がはじめてのことなので、楽しくてチャレンジしています。最初の試験期間は、みんな図書館で9時ぐらいいまで勉強し、その後さらにやる気が出て勉強しました。八戸高専での生活は面白いと思っています。みんなの姿をみると孤独の生活になりません。これからよろしくお祈いします。

ワクワク日本

電気情報工学コース3年
ドウアンスリトン ナパサワン
(タイ)

こんにちは！ パンです。タイから来ました。今2ヶ月くらい日本に住んでいます。子供の頃から日本へ行きたいと思っていたので、夢が叶ってとても嬉しいです。今まで色々なことがあって、わるいこともいいことも、辛いほど泣いてしまったこともあるし、絶対忘れないこともあるし、最初は全然慣れなかったです。勉強のことだけではない日本語とか、文化とか、とても大変でした。それに友達や家族と離れて寂しいと思いました。でも今ちょっと慣れたと思います。もちろん悩んでいることはまだ無くならないですけど、だいたい大丈夫かと思っています。最近は友達出来て嬉しかったです。一緒に喋ったり、旅行したり、それに勉強を教えてくれてよかったです。辛いことがあっても、幸せなこともあるので、今の生活に慣れつつあると思います。日本には分からないことがいっぱいあるのでワクワクです！ 新しいことをやってみたいです。これからの生活を楽しみにしています！

初めての高専生活

環境都市・建築デザインコース3年
バトトルガ ビルグーン
(モンゴル)

高専生活は私にとって初めての経験でしたので、最初は不安を感じる一方でした。しかし、現在、留学してからもう2ヶ月が過ぎ、不安は全て杞憂に過ぎませんでした。

クラスメイトはとても真摯で親切、困ったことがあればいつでも助けてくれます。言葉の壁はあるものの、留学生同士だけでなく、日本人学生とも異文化交流を通じて、お互いの文化や考え方を理解し合うことができ、高専生活は充実しています。

また、先生方もとても熱心で、実験の機会も多く、実践的な学びができる環境であり、クラスメイトと協力しながらより早く、より深く、新たな知識や技術を身につけることができるこの教育システムにとっても満足しています。さらに、国際寮で日本人と一緒に生活していくことによって日本の文化や言葉に触れる機会も多くなりました。八戸高専の留学生活は、学術的な成長だけでなく、人間的な成長にもとりかかっています。それで、これからも八戸高専での留学生活を楽しみながら、さらなる成長を目指していきたいと思っています。

八戸高専に編入学して

機械・医工学コース4年
傳法朔矢
(青森県立むつ工業高等学校出身)

八戸高専に入学して早くも2ヶ月が経ちました。周りの方々のお世話になり、環境の変化に苦労しながらも毎日楽しく過ごしています。

高専での勉強は工業高校で学んだことをさらに理論的に学習するといったものですが、自分がよく知らないことが次々に出てきて、授業を理解するだけでも一苦労で、自分の勉強不足を痛感しています。私自身がわからないことをわかるまで自力でやろうとする性格なので、もっと時間が欲しいというふうになりました。

学校や寮では、少しずつ友人も出来てきて、学校や寮生活をする上でわからないことや勉強でわからないことを教えてもらうなどして楽しく、有意義に過ごしています。八戸高専に来てから初めて体験することがたくさんあり、学校での授業だけでなく日々の生活の中でも勉強になっています。これからの2年間大変なことも多いと思いますが、夢に向かって頑張ります。よろしくお祈いします。

八戸高専に編入学して

環境都市・建築デザインコース4年
繻井遊翔
(岩手県立種市高等学校出身)

環境都市・建築デザインコース4年の繻井遊翔です。この八戸高専に編入学してすでに二か月が過ぎてしまいましたが、高専生活の抱負や思ったことを発表したいと思っています。

高専の授業というのは高校で学んだ分野と被るところがありますが、高校の授業とは比べ物にならないくらい、高いレベルで進んでいきます。ついていくのが大変という気持ちももちろんありますが、今まで腑に落ちなかったところが解決したりより根本のところから理解できたりするのでこれまでよりも楽しく授業を受けられています。

学校生活にもすでに慣れ、今では多くの友人とともに勉強、遊び、寮生活を楽しんでいます。

最初のテストで洗礼を受けて前途多難なところもありますが、これからの二年間は一瞬で過ぎ去ってしまうと思うのでこの高専生活を余すところなく謳歌していきたいと思っています。

今年の編入生・留学生紹介

自主探究が楽しみです

機械・医工学コース1年
ナンタワット ティティカモン
(タイ)

私はナンタワット ティティカモンです。
ノーズと呼んでください。タイのバンコクから
来ました。

日本語があまりできないので、変な日本語を
言ってしまうかもしれません。先生や友達がいっ
つも手伝ってくれてありがたいです。

工作実習の授業が面白いと思います。日本に
来たら、いろいろなことを習いました。日本では
基礎だけでなく、生活に応用できることも勉強で
きます。

八戸高専では他の高専と違って自主探究があ
っていいなと思っています。なぜなら、自分のやり
たいことを実現できるからです。

私は日本料理が好きです。本物を食べてみると、
思ったよりおいしかったです。

日本の生活はとても楽しいです。これからもよ
ろしくお願いします。

八戸高専の生活

マテリアル・バイオ工学コース1年
ピランヤー イアムチャロンサック
(タイ)

私はピランヤー イアムチャロンサックです。
ガェムと呼んでください。タイのチョンブリー
から来ました。

寮生活は初めてではありませんが、寮の清潔さ
にとっても感動しました。

高専の時間割はタイとは異なります。例えば、
タイでは昼までに授業が4つありますが、高専は
2つです。

クラスメートはとてもフレンドリーで、英語も
とても上手に話せます。

テストは難しかったので、次のテストに向けて
もっと勉強する必要があると思います。

日本に住んで勉強するのはとても楽しいです。
とても良い経験だと思います。

かぶしま

電気情報工学コース1年
ルアンカモンジンダ ナパッソン
(タイ)

私はルアンカモンジンダ ナパッソンです。
アーイとよんでください。タイのチョンブリー
から来ました。

チョンブリーには美しいビーチがあります。バ
ナナボートに乗って遊んでいます。バナナボート
は200円で借りることができます。

先月かぶしまに行きました。うみねこを見まし
た。たくさんいました。かわいかったです。

かぶしまの近くの白浜海岸はきれいでした。

次は青森市に行って、有名な水族館で魚とイル
カショーを見たいです。

日本語は難しいですが好きなので、もっと勉強
して上手になりたいです。

仲良くしてください

マテリアル・バイオ工学コース1年
チャボディー ケウノイ
(タイ)

私はチャボディー ケウノイです。タイ王国の
トラン県から来ました。

好きな食べ物はサーモンです。日本のサーモン
はとてもおいしいです。

私が入っている部活は、バレーボール部です。

1週間に6日、1日あたり2時間練習しています。
タイは30℃以上ですから、はじめて八戸に来た
とき、とてもさむかったです。

一番得意な教科は体育です。体育の川端先生は
やさしくてかっこいい先生です。

私のチューターは和顕と映心です。こまったと
き、いつも助けてくれます。日本語で2人と話し
ます。

日本語は難しいですが、頑張って勉強するので、
仲良くしてください。

新任教職員紹介

① 新藤 圭介

- ② 静岡県熱海市
- ③ 総合科学教育科 助教
- ④ 東邦大学大学院 博士後期課程

今年の4月から本校に着任しました新藤圭介と申します。私の出身は熱海市にある離島で、実家ではイカや伊勢エビなどの漁を行っていました。東邦大学の理学部において物理学を専攻した後、同大学の理学研究科で数学の研究を行い、学位を取得しました。主な研究分野は、非線形解析学と不動点定理であり、最適化問題や均衡問題などを扱っています。今後の研究活動では、これらの分野をより深く学んでいくとともに、数学的な理論を自然科学や工学に応用する方法を見つけていきたいと考えています。また授業では、できる限り多くの学生が数学に興味を持ち、専門分野において数学の知識を活かしていけるような指導を心がけていきたいです。

東北での生活は初めてです。これまで比較的あたたかい地方に住んでいたため冬の寒さが心配ですが、元気に生活していきたいと思っています。何かと至らないことが多いと思いますが、これからよろしく願いたします。

① 田村 英門

- ② 青森県黒石市
- ③ 総合科学教育科 特命准教授
- ④ 八戸高専非常勤講師

4月に着任いたしました田村英門（ひでと）と申します。県立高校の教員を退職後、2年半の間非常勤講師として本校にお世話になっていました。

「青天の霹靂」を生み出したコメとリンゴの産地黒石市の出身ですが、大学卒業後はずっと南部におりますので、八戸での生活が人生の約3分の2を占めるようになりました。

高校での経験、旧文部省・文部科学省主催の英語研修への派遣や中高英語教員の研修講師の経験等を活かし、八戸高専の一員として学生の教育に携わっていきたくと思っています。また、学生と何気ないコミュニケーションをできるだけ多くとることを個人的な信条の一つにしています。

「KOSEN英語」の理念の実現に向けて、微力を尽くすつもりでおりますので、どうぞよろしく願いたします。

① 草刈 明美

- ② 東京都
- ③ 総合科学教育科 特命准教授
- ④ 会津大学

はじめまして。5月に着任した草刈明美です。東京都出身ですが、人生で一番長く滞在したのは嫁ぎ先の仙台です。日本語教師歴は25年で、これまで30ヶ国以上の留学生に日本語を教えてきました。全く日本語が話せない人から日本企業に就職したい人まで、レベルは様々です。

日本語の教員は日々外国人と接しているせいか、物言いがダイレクトすぎるといった傾向があります。

日本人らしい奥ゆかしさに欠ける為、デリカシーのない人に見えているかもしれません。

八戸には家族の半分が住んでいます。発達障害（ASD）の長男と、彼を支える次男との3人暮らしです。プログラミングのような正確な手順を会話に求める長男と、感覚的でロジカルとは言えない私との《不協和音》が我が家の音楽です。

趣味はベリーダンスとヨーデルです。どうぞよろしく願いたします。

① 秋田 敏宏

- ② 岩手県九戸郡
- ③ 電気情報工学コース 准教授
- ④ 一関高専 電気・電子系 准教授

本年4月に着任した秋田敏宏と申します。八戸の地で生活するのは学生時代（E30卒）、高専間人事交流時代（H27～28年度）、今回が3回目となります。本校学生時代には高電界工学、大学時代は無線・アンテナ工学、システム情報工学について研究してきました。現在は、様々なシステムに搭載される組込みシステムに関する研究開発や、産学官連携による電気自動車教材の開発などを行っております。

一関高専では、地域連携や学生会活動などに主体的に取り組んできました。高専生のパワーに感激する日々でした。本校においても、学生の教育研究活動・課外活動における指導やサポートを通じて、学生とともに成長したいと思っております。また、地域貢献にも努めていきたいと考えておりますので、よろしく願いたします。

① 赤川 徹朗

- ② 秋田県大仙市
- ③ 電気情報工学コース 助教
- ④ 筑波大学 システム情報系 研究員

本年4月より着任いたしました赤川徹朗と申します。私の出身は秋田県の大仙市です。私が育った地域は田園風景が広がる田舎で、しばしば通学路に野生の猿が出没するような自然の中で育ちました。高校卒業後は秋田から離れて岩手県立大学に進学し、博士修了まで在籍していました。その後は筑波大学システム情報系の研究員に就き、2年間勤務しました。慣れ親しんだ東北を離れて関東に住む中で、自分には東北の空気のほうが合うなと思い至り、この度は東北に帰ってくる思いで八戸高専に着任させていただきました。

私が博士進学を選んだきっかけの一つが、教育指導に熱心な大学の指導教員の姿に憧れたことであるため、私も八戸高専の学生達に質の良い学問を教育できるように邁進してまいります。

① 葛西 一宏

- ② 青森県弘前市
- ③ 学生課長
- ④ 秋田高専 学生課長

この度4月1日付けで八戸高専に異動してまいりました葛西一宏と申します。

3年ぶりの八戸になります。

4学期制や自主探究、国際寮など、前任の秋田高専とは異なるカリキュラムや施設があり、それに伴う行事や会議等も多く、追いつくのがいっばいで、取り組む時間が早く流れます。

みなさまと対話をしながら業務を進められたらと思っております。

私は山育ちなので海に面した八戸市の探索もしようと考えております。

どうぞよろしく願います。

① エンケ ホルワ

- ② 中国・内モンゴル
- ③ 環境都市・建築デザインコース 助教
- ④ 名古屋工業大学大学院 博士課程

はじめまして。4月から採用となりました、エンケホルワと申します（モンゴル語で世界平和という意味です）。2014年に内モンゴル工業大学を卒業し、2016年に日本へ留学し、名古屋工業大学の歴史的建造物に関する研究を行う研究室に所属し、2022年3月に博士号を取得後、2023年3月まで建築設計事務所に建築意匠設計に関わる仕事を行って参りました。今後の教育活動においては、建築歴史・意匠、建築・都市計画、建築設計、建築構法などに関連する授業を担当していきたいです。また、モンゴル語、日本語、英語、中国語などの言語能力や海外留学経験も活かして、専門領域における日本と海外の国々との架け橋となり、その他の学内業務や地域貢献などのプロジェクトにも積極的に関わりを持つことにより、高専の教員としての責務を果たすために邁進したいと考えています。至らぬ点・未熟な点が多いですが、今後ともよろしく願います。

① 大島 結希

- ② 青森県弘前市
- ③ 学生課教務係
- ④ 青森県近代文学館

4月から採用となりました、大島結希と申します。山梨県にあります都留文科大学を卒業ののち、昨年度まで青森県近代文学館で解説員として働いていました。飛び交う聞きなれない単語に？マークを浮かべながら仕事をする毎日です。八戸市には祖父母や兄に会いに来ていたので全く縁のない土地というわけでもないのですが、やはり住んでみるとまた違って見えるものだな、と日々新鮮な気持ちで過ごしています。

学校についても業務についてもわからないことばかりで、周囲のみなさまに助けていただきながら少しずつ業務をこなしています。優しく声をかけてくださる皆様には、いつも感謝しております。未熟ゆえにご迷惑をおかけするかと思いますが、精一杯頑張りますので、どうぞよろしく願います。

北辰寮から

北辰寮 総代より

機械システムデザインコース5年
山田 晟也
(軽米町立軽米中学校出身)

新型コロナウイルスが5月8日から五類感染症に移行し、今年度は寮祭等の各種イベントが復活しつつあります。徐々に元の寮の姿を取り戻してきていることを嬉しく思います。

さて、新学期が始まり約2か月、1年生のみなさんは寮の生活に慣れてきたことと思います。最近では明るい声や笑顔で同学年や先輩方と交流している姿をよく見かけ、楽しく過ごせているようで安心しています。

6月初めに行われた春学期到達度試験も無事に終わりました。再試験や補充試験がある人はしっかりと勉強し、確実に単位を取得できるようにしましょう。

これから寮祭や高専大会等、様々なイベントが待っています。未だに多少の制限下で開催されるものもありますが、ルールの中で全力で楽しんで、よりよい学生生活を送りましょう！

国際寮について

マテリアル・バイオ工学コース5年
高村 理子
(五戸町立倉石中学校出身)

先月、新型コロナウイルスが五類感染症に引き下げられ、今月から寮内でも感染防止の

ために制限されていた規則が少しずつ緩和されてきています。そんな中での新たな生活は、寮生の笑顔や笑い声が増え、皆のびのびと生活できているように感じます。そして、国際寮でもコロナ前の様な共有スペースでの積極的な交流が戻りつつあります。様々な国籍の留学生と生活を共にすることで、言語や文化など教室内だけでは難しい国際的な感覚を身に着けることができ、改めて国際寮の魅力を感じています。また、留学生はもちろん他学科、他学年の日本人学生とも協力して活動する機会も多く、これも寮生活ならではの貴重な経験だと思います。このような楽しい寮生活が長く続き、様々なイベントにも目一杯取り組めるよう、これからも個人でできる感染対策を心がけ、寮生皆協力して生活していきましょう。

2023年度を迎えて

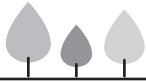
寮務主事 捕 古 川 琢 磨

令和5年4月5日(水)、新留学生7名(男子3名、女子4名)を含む新入寮生62名(男子51名、女子11名)が北辰寮に入寮しスタートいたしました。

今年度は新しく、複数校受験制度による他県からの新入寮生も迎え入れており、北辰寮の多様化が進んでおります。

新型コロナウイルスの第5類感染症移行に伴い、4年ぶりに通常の北辰寮寮祭が開催される運びとなりました。4年前の寮祭を覚えている学年は5年生のみで、白紙の状態から高学年を中心として寮祭の企画を行っています。

また混住型国際寮C棟建設の着工に伴い、高学年用の小食堂が廃止され、大食堂で低・高学年生が寮食を摂取するようになりました。北辰寮にとって大幅な生活様式の変更がある2023年度となりましたが、寮生の皆さんが柔軟に生活できるよう寮関係者一丸となって支援してまいります。



相談室より

相談室長 河村 信治

相談室では、心身の変調や悩みのある学生に対して、カウンセラー等による支援を行っています。長く続いたコロナ禍で会話や交流が不足し、また社会の対立や分断も目立ち、誰もがストレスを抱えがちな昨今です。そうでなくても青年期は心身が大きく変化・成長する時期であり、悩み多き時期でもあります。

相談室は夏休み中も平日9～17時開室しています（盆の学校閉鎖期間を除く）。相談がある場合は、まず電話かメールで相談員か保健室にお問い合わせください。

カウンセリングは原則として学校にて「対面相談」で行います。相談を希望する場合は、日時を予約しての対応になります。精神科医、臨床心理士、公認心理師の資格を持つカウンセラーが定期的に来校していますので、安心してご相談ください。下記の本校ホームページにカウンセラー等の来校予定日が掲載されていますのでご確認ください。校内に「カウンセラー来校日のお知らせ」ポスターや、各教室内に「相談室からのお知らせ」も掲示しています。

◎カウンセラー

笹 博 氏（医師・本校客員教授）
土屋 文彦 氏（臨床心理士）
中西 智子 氏（臨床心理士）
嶋野知恵子 氏（公認心理師）

さらに本校では、社会福祉士の資格をもつスクールソーシャルワーカー（SSW）が週3回来校しています。心の悩みというより学生の家庭や学外も含め社会的な困難がある場合など是非ご相談ください。この場合も秘密は守られます。

◎スクールソーシャルワーカー（SSW）

正部家千穂子 氏（社会福祉士）
（原則毎週月・木・金曜日午後來校）

また発達障害等の診断を受けた場合や、生得的なさまざまな特性により支援が必要と思われる場合にも相談室にご相談ください。合理的配慮が必

要な場合は、教職員チームで支援体制を整え、障害支援の経験豊かな専門家のアドバイスを得ながら適切に対応して参ります。

◎障害支援アドバイザー

千葉 隆史 氏（非常勤／元県立養護学校長）

最後に本校常勤の相談室スタッフをご紹介します。

◎インテーカー（窓口）TEL 0178-27-7236（保健室）

石川久美子 看護師

◎相談員

各コースの教員を配置し、保健室の談話スペースにて日替わり（授業日）16：00～17：00でご相談に応じます。夏学期の担当は次の通りです。

月曜日：北川 広大 教員（Mコース）
火曜日：中村 嘉孝 教員（Eコース）
水曜日：庭瀬 一仁 教員（Zコース）
木曜日：河村 信治 教員（G科）
金曜日：小船茉理奈 教員（Cコース）

◎教職員向け相談員

下に示す時間、場所で相談に応じます。主に教職員向けですが、学生でも相談できます。

工藤 憲昌 相談員

金曜日 15：00～17：00

工藤教員室（E棟4階）

吉田 光男 相談員

月曜日 10：00～12：00

ものづくりセンタープログラム室

八戸高専 相談室ホームページ

<https://www.hachinohe-ct.ac.jp/schoollife/soudan/index.php>

☆学生本人と保護者の方々がご利用になれる高専機構の「KOSEN健康相談室」フリーダイヤル0800-000-2228もあります。
（受付時間：24時間・年中無休）

国際交流・グローバルエンジニア育成に向けていざ出陣！

国際交流センター長 横田 実世

3年間におよぶ新型コロナウイルス感染拡大による行動制限から解放され、やっと普通の生活に戻りつつあります。昨年の夏から本校でも高学年生の海外派遣を再開し、今年度は低学年生も派遣再開に向け準備を進めています。また4年ぶりにフランスからの短期留学生を4名受け入れ、4月からの約3か月間学内での研究活動を行いました。オンラインでの国際交流だけでなく、対面の交流に触れる機会が増えています。是非ともこの機会を活かして積極的に国際交流に参加してほしいと思います。

1. 令和5年度の新留学生：

今年度、タイから計学生4名（C：2名、E：1名、M：1名）が1年生として入学しました（L1）。そのほかにタイ高専から女子学生1名が3年生へ編入しました（E3）。また、国費留学生として、ラオスから女子学生1名（E3）、モンゴルから男子学生1名（Z3）が編入してきました。留学生は専門分野を日本語で勉強しています。家族のいない八戸での生活に慣れないことも多いです。クラスや寮などで是非話しかけてあげてください。



タイからの新入生



（左から）タイ・モンゴル・ラオスの編入生

2. 留学生バス遠足：

フランス人留学生・長期留学生・日本人学生を交えて弘前城へのバス遠足を実施しました。4月末で桜の満開時期は過ぎていましたが、学生たちは交流しながらの散策を楽しんだようでした。



弘前城お花見遠足の様子

3. グローバルラーニングセンター（GLC）：

今年度の4年生から5年次進級要件にTOEIC 400点が導入されます。基本的に400点が取れないと進級できません。その対策として3年生の英語の授業にTOEICを一部導入することで早く試験のスタイルに慣れる練習をしています。また放課後にGLCでTOEICのワークショップも定期的開催しています。さらに、学校でTOEIC-IP試験を年に3回ほど行う予定ですが、開催頻度は限られています。ギリギリまで待たずに400点を早めに獲得されることをお勧めします。GLCでは資格試験取得や、英語力を伸ばしたい人だけでなく、特に英語に不安がある人の学習サポートを行っています。自ら危機管理意識を持ってクラス担任・英語科・GLCの先生方に相談し、ワークショップに進んで参加しましょう。

4. ホームステイ：

お盆や年末年始の学校閉鎖時に自国に帰る留学生もいますが、様々な理由で帰国できない学生もいます。そこで本校では学生宅に留学生が滞在し、お正月体験や、家族と過ごしながら日本や八戸の文化を楽しめるようホームステイボランティアを募集しています。数日の短期受入でも構いません。興味のある方は下記へお声がけください。

【問い合わせ先】

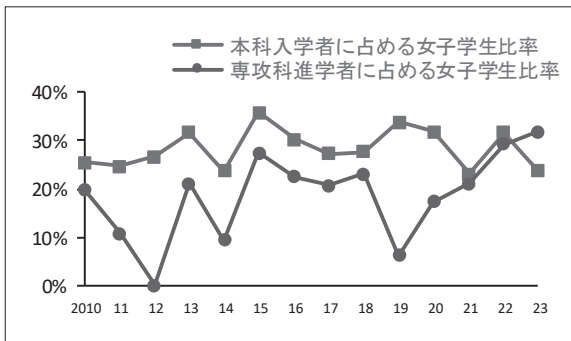
- GLC…英語科教員および
グローバル担当教員
（岡田先生・田村先生）
- ホームステイ
…総務係、吉田先生（G科）
門磨先生（Cコース）

男女共同参画委員会から

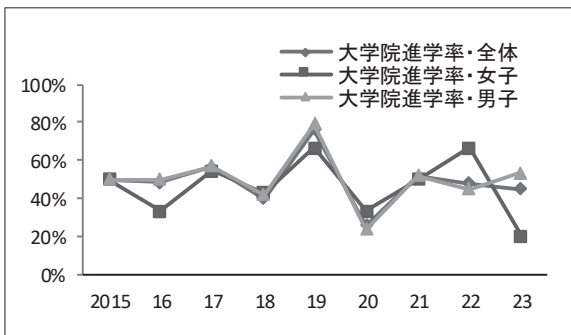
女子学生の動向と活躍

男女共同参画委員長
佐藤 久美子

本校女子学生の最近の動向を、2つお示しします。まず、以下の2010年から今春までの「本科と専攻科に占める女子学生比率」の通り、本科女子比率は30%前後のほぼ一定の状態です。しかし、専攻科生の女子学生比率は伸びてきていて、専攻科の中での女子学生の存在が高まってきていることがわかります（ただし、学生数が少ないため、年毎のばらつきが大きい）。以上のことから、本科への女子学生の入学者数が増えれば、さらに専攻科女子学生の数も増えることが予想されます。



次に、専攻科修了生の「大学院へ進学した学生比率」を見たグラフです。こちらも学生数が少なく年毎の変動が大きくなりますが、女子と男子で進学率にはほぼ違いがないことがわかります。今春の女子進学率は下がりましたが、来春は高くなる見込みです。このように、女子専攻科生は勉学・研究に対する意欲が旺盛で、将来を見据えて進学意識が高いことが見て取れます。専攻科修了後、男女ともに専攻科修了生は各方面で活躍していることから、優秀な専攻科生をさらに多く世の中に出すことが、本校には期待されていると思います。



図書館の 今年度の予定

図書館長
釜谷 博行

今年度の図書館の活動として、以下のことを計画しています。

<読書習慣を身につけさせるための各種イベントについて>

- ・ブックハンティング
- ・ニューズレターの発行
- ・学生会図書委員会の活動支援
- ・各種展示コーナーの充実

<学外行事への参加>

- ・青森県高等教育機関図書館協議会

<令和5年度図書館委員会行動計画>

- ・交流室の積極的な活用について
- ・読書習慣を身につけさせるための各種イベントの充実
- ・蔵書点検の実施
- ・新・統合図書館システムの安定運用

<その他>

・八戸ブックセンターとの連携「ひと棚選書」

「本のまち八戸」推進の拠点施設「八戸ブックセンター」内に「ひと棚」を設置し、来館者の「本との出会い」創出の試みとして、市内の高等教育機関の教員が推薦する書籍が、常設ブースに陳列されます。今年度も高専教員の皆様から図書を紹介して頂く予定です。

・キャリア関係図書の充実について

令和4年度に学生からのニーズの高い資格参考書を100冊購入し、蔵書をさらに充実させました。また、利用率の高い本や、単位認定されている資格の中で発行から大分時間が経過している資格参考書を更新しました。積極的にご利用ください。

・新入生コーナーの開設について

図書館の利用促進のため、図書館入口付近に新入生の皆さんに向けておすすめの本を集めたコーナーを開設しました。新1年生の皆さん、是非、図書館に足を運んでみて下さい。



新入生コーナー

・新・統合図書館システムの 利便性向上について

新・統合図書館システムが導入されましたが、これに合わせて今年度中にshibboleth 認証が利用可能となります。今後、自宅やスマホから図書の予約や貸し出し状況の確認が可能となり、図書館利用の利便性が向上する予定です。

キャリア教育 ・ 学習支援センター から

キャリア教育・学習支援センター長
沢村利洋

キャリア教育・学習支援センター（以下、キャリアセンター）では、学生の皆さんが卒業時に希望の進路を実現できるように、「キャリア教育」と「学習支援」に関するプログラムを企画・整備・実施しています。

年度初めには、学年ごとのキャリア説明会で、それぞれが今年度すべきことをお伝えしました。確認のために、「学年別キャリアデザイン行動指針」を次に示します。

- 1年：他人とのつきあい方を知り、自分を知る
- 2年：将来像を考え、行動目標を設定する
- 3年：進学・就職それぞれについて研究する
- 4年：希望とする進路先を決め、就職試験や大学入試に向けた準備をする
- 5年：進路活動。将来を展望する

自分の学年の行動指針を把握し、4、5年次のインターンシップや就職活動・編入学受験といった進路活動を実りあるものにしてください。

では、今年度の進路状況とキャリアセンター事業についてご説明していきます。

【進路状況】

1. 今年度の社会情勢

今年度、就職活動に関する状況が大きく変わりました。

具体的には、インターンシップの取り扱いが次のように変わりました。

① 4タイプに分類

従来の1日程度の企業研修はオープンキャンサーと呼称変更。1週間以上の企業研修のみインターンシップと呼ぶ。

② インターンシップ参加学生情報の採用選考活動での活用承認

従来は（建前上では）インターンシップに参加した学生に対して採用選考時にアプローチすることは認められていなかったが、今年度（現4年生）から参加データをもとに声がけすることが認められることになる

③ 採用選考における学業成績重視

選考における評価ポイントとして、学生時代の成績の割合が高くなる

つまり、インターンシップに参加して高評価を得られると内定取得の可能性が高くなるということと、普段の勉強をしっかりとしなければいけないということになります。

進学の場合も同様です。各大学ではオンラインや対面でのオープンキャンパスが開催されています。大学によっては夏季休業中、研究室で実習が実施される場合もあります。希望の研究室で実力を認められれば、推薦受験時などで大きなアドバンテージとなります。

これらのことから、希望の進路先をつかみ取るには、3年次までに自分の将来像をある程度固め、どこに行きたいか選択肢を狭めておき、4年春学期でのインターンシップ等の応募で迷わないようにすることが大変重要です。

キャリア説明会時に配布した「進路参考資料」（もし紛失した人がいたら、Webclassからダウンロードしておくこと）や、図書館に入っている企業情報誌や受験対策用問題集など、さらに興味ある企業や大学のホームページなどで十分に情報収集し、さらに、自分の適性と志望職とのマッチングを確認しておいてください。

2. 現在の進路状況

今年度の6月14日現在の本科5年生および専攻科2年生の進路状況を表に示します。

進学希望と就職希望の割合は、コースによってばらつきはありますが、全体としては、ほぼ同じとなっています。

6月14日の時点では、進学希望で行先を確保している学生の割合は、本科約1/4、専攻科0です。6月はまだ本校専攻科といくつかの大学の推薦しか実施されていません。今年度は、多くの大学が7月に受験日が設定されていますので、これからが勝負となります（本原稿配布時にはほとんどの学生が決まっていることを期待）。

就職希望で内定を1つでも取っている学生の割合は、本科6割、専攻科8割です。ニュースにもなりましたが、本来6月1日が採用選考活動解禁となるはずですが、3月末には内定が出始め

進路状況（6月14日現在）

本科コース	M	E	C	Z	計
卒業予定者数	45	44	42	40	171
進学希望者数	18	28	24	16	86
就職希望者数	27	16	18	24	85
求人社数 (昨年度同時期)	767 (684)	786 (705)	566 (499)	592 (513)	2,711 (2,401)

専攻科コース	AM	AE	AC	AZ	計
修了予定者数	7	7	5	5	24
進学希望者数	4	5	4	2	15
就職希望者数	3	2	1	3	9
求人社数 (昨年度同時期)	733 (663)	751 (682)	546 (489)	576 (506)	2,606 (2,340)

ている状況です。今後、今年度のインターンシップの状況が反映されて、これまで以上に早く動かなければならないかもしれません。4年生以下は、しっかりと将来像を描いておくように。

なお、社会がまた動き出してきたこともあり、求人社数は昨年度に引き続き増加傾向です。今後も同程度の求人社数が見込まれます。選択肢が多いことから、広く情報を集め自分に合った企業を見つけ出して下さい。

【キャリア支援】

1. 今年度予定している講座・説明会

年度初めに実施したキャリア説明会以外に次の講座を予定しています。 ※括弧内は対象学年

- ・自己分析講座（1、3年）
- ・インターンシップ準備講座①、②（4年）
- ・就職活動準備講座①、②（4年）
- ・労働に関する講演会（5年）
- ・進学予定者報告会（全学年）
- ・大学・大学院説明会（主に3年以上）

2. 進路活動の進め方

まず、キャリア説明会で配布した「進路参考資料」を読んでください。4年生の冬に予定されている三者面談で志望先を保護者とともに確認しますので、ご家族で志望先を確認する参考資料としてもご活用ください。

また、昨年度末に図書館に整備した進路関係の情報誌、問題集、参考書を手に取って眺めてくだ

さい。今後も種類を増やしていく予定ですが、冊数は学生人数分は揃えられないためサンプルとして置いてあります。したがって、貸出は基本的に行っておりませんが、進路に必要な本や自分に合った参考書を購入しようと思ったときに見比べて確認してください。

1、2年生は、とにかく様々なことにチャレンジしてみるように。専門分野を十分に学んでいない状況で将来像を考えるのは難しいことでしょう。しかし、将来、進路活動において、何もしてこなかった学生と様々なことを体験して成長してきた学生とで、どちらが選ばれるかは想像できると思います。選ばれるための武器を身につけるように高専生活を送って下さい。

【学習支援】

1. 進学支援

大学・大学院への受験対策や、進学してから必要な学力をつけてもらう目的で次の事業を行っています。

- ・数学発展セミナー（通年、2年以上）
- ・集中数学セミナー（春秋、4年）
- ・校内数学模試（12月、1～4年）
- ・受験直前数学・英語模試（4月、5年）

いずれも放課後に実施されるので、課外活動との折り合いをつけるのが難しいかもしれません。しかし、数少ない授業以外で力試しをできる機会です。是非ご活用ください。

2. メンター制度

メンティ希望の方は、学期ごとに申込書を提出するように。昨年度から変更した点ですが、1、2年生も全科目を申請対象科目とできるようになりました。英語・数学は進級するためにも大事な科目です。苦手な方はご活用ください。また、4、5年生にお願いしているメンターは進路活動で自分をPRできる実績になります。依頼されましたら積極的に受けて下さるとありがたいです。

なお、今年度の秋・冬学期のマッチング期間は次の通りです。

秋学期：10月2日（月）～10月23日（月）

冬学期：12月6日（水）～1月22日（月）

実施できる期間・回数を考慮してマッチング期間は設定していますので、メンティ希望の場合は締切厳守で申込書の提出をお願いします。

各事業は、順次、メールや掲示で詳細をご連絡していきます。積極的に活用してください。また、不明な点や要望がありましたら、各コースのキャリアセンター委員にご相談ください。

令和4年度

学年学業成績優秀賞、三ヶ年皆勤賞



○ 令和4年度 学年学業成績優秀賞

氏名	進級後クラス
【1年次成績部門】	
福田 のみ	機械・医工学コース2年
白石 光	電気情報工学コース2年
上長根 龍斗	マテリアル・バイオ工学コース2年
滝川 健伸	環境都市・建築デザインコース2年
【2年次成績部門】	
福士 涼之真	機械・医工学コース3年
田中海 斗	電気情報工学コース3年
横野 彩音	マテリアル・バイオ工学コース3年
天間 大斗	環境都市・建築デザインコース3年
【3年次成績部門】	
イ ト	機械・医工学コース4年
夏林 純英	電気情報工学コース4年
柿崎 元徳	マテリアル・バイオ工学コース4年
川原田 鈴	環境都市・建築デザインコース4年
【4年次成績部門】	
福井 大翔	機械システムデザインコース5年
熊谷 大智	電気情報工学コース5年
三浦 萌加	マテリアル・バイオ工学コース5年
石橋 知士	環境都市・建築デザインコース5年
【専攻科成績部門】	
西館 来夢	機械システムデザインコース2年
田中 茉優	環境都市・建築デザインコース2年

○ 三ヶ年皆勤賞

機械・医工学コース	電気情報工学コース	マテリアル・バイオ工学コース	環境都市・建築デザインコース
阿部 祐輔	石戸 諒汰	赤田 健介	川原 彩愛
川原 彰太	大高 流玖	極 檀美空	興 栢龍彦
木村 廉	小笠原 悠吏	関 智朗	小森 真奈
佐々木 穂南	熊野 創太	平 開斗	佐々木 大輝
沢田 咲樹	須崎 新大	高橋 凜	祐川 和奏
下柘棚 弘大	中新井田 登大	瀧田 澄怜	須藤 駿太
富岡 桔平	夏林 純英	繫 光穂	槻ノ木澤 匠
夏井 天夢	三上 朝陽	沼田 春海	向井 葉南
渡辺 歩	柳沢 優樹	橋本 樹	渡辺 杏未華
		畑 中悠亜	
		畑 山瑠衣	
		濱 田彩乃	

第67回 東北地区高等専門学校体育大会結果一覧

団体の部

競技開催校	競技名	大会会場	男子	女子	競技日程
八戸高専	ソフトテニス	八戸市東運動公園テニスコート	予選敗退	-	令和5年7月1日(土)～2日(日)
	柔道	八戸市武道館	4位	-	令和5年7月1日(土)～2日(日)
一関高専	サッカー	奥州市ふれあいの丘公園多目的広場	1回戦敗退	-	令和5年7月1日(土)～2日(日)
	バドミントン	一関市総合体育館 ユードーム	1回戦敗退	-	令和5年6月24日(土)～25日(日)
秋田高専	陸上競技	秋田県立中央公園 陸上競技場	6位	2位	令和5年7月9日(日) 予備日：7月10日(月)
	バレーボール	タクミアリーナ	優勝	3位	令和5年7月1日(土)～2日(日)
鶴岡高専	テニス	小真木原テニスコート	1回戦敗退	-	令和5年7月1日(土)～2日(日)
	剣道	櫛引スポーツセンター	5位	5位	令和5年7月1日(土)～2日(日)
仙台高専 広瀬	ラグビーフットボール	みやぎ生協 めぐみ野サッカー場			令和5年10月21日(土)、 22日(日)、24日(火)
	卓球	仙台市若林体育館	準優勝	優勝	令和5年7月1日(土)～2日(日)
仙台高専 名取	水泳	セントラルスポーツ宮城G21プール	5位	7位	令和5年7月1日(土)～2日(日)
	ハンドボール	カメイアリーナ仙台(仙台市体育館)	4位	-	令和5年7月1日(土)～2日(日)
福島高専	硬式野球	いわきグリーンスタジアム(メイン) いわき市平野球場(サブ)	1回戦敗退	-	令和5年7月1日(土)～2日(日) 予備日：3日(月)・4日(火)
	バスケットボール	いわき市立総合体育館	3位	3位	令和5年7月1日(土)～2日(日)

※全国大会団体出場競技

競技名	全国大会会場	全国大会日程
バレーボール 男子	茨城県ひたちなか市総合運動公園総合体育館	令和5年8月26日(土)～27日(日)
卓球 女子	茨城県ひたちなか市総合運動公園総合体育館	令和5年8月19日(土)～20日(日)



個人の部

競技種目	種目名	クラス	氏名	成績	全国大会日程
陸上競技	男子円盤投	M 4	浅木 慎之介	2位	日程：令和5年8月26日(土) ～27日(日) 会場：デンカビッグスワンスタジアム (新潟県スポーツ公園 陸上競技場)
	男子走高跳	C 2	三浦 悠 杜	3位	
	女子100m H	Z 4	祐川 和 奏	1位	
	女子走高跳	Z 4	祐川 和 奏	1位	
	女子砲丸投	Z 4	嶋 守 和 夢	3位	
	女子砲丸投	M 2	永澤 七 明	2位	
	女子円盤投	M 2	永澤 七 明	1位	
バドミントン	-	-	-	-	-
ソフトテニス	女子個人 (ダブルス)	C 4	高崎 美 羽	2位	日程：令和5年8月30日(水) ～31日(木) 会場：サニーイン むかいテニスコート
		C 5	高村 理 子		
	女子個人 (ダブルス)	C 4	高橋 凜	3位	
		C 2	織 笠 実 生		
柔 道	男子 無差別級	Z 4	深川 佳 豊	3位	日程：令和5年8月19日(土) ～20日(日) 会場：千葉県総合スポーツセンター 武道場
	女子	Z 3	月岡 彩 音	1位	
卓 球	男子 シングルス	E 4	中新井田 登大	4位	日程：令和5年8月19日(土) ～20日(日) 会場：茨城県ひたちなか市 総合運動公園総合体育館
	男子 ダブルス	E 4	中新井田 登大	2位	
		C 3	和田 佳 都		
	女子 シングルス	C 3	田中 蒼 空	1位	
	女子 シングルス	C 3	蛭名 歩 来	2位	
	女子 ダブルス	C 3	蛭名 歩 来	2位	
C 3		田中 蒼 空			
テ ニ ス	女子個人 (ダブルス)	C 3	立崎 彩 芽	3位	-
		C 3	松島 里 紗		
剣 道	女子	Z 1	山本 藍 里	4位	-
水 泳 競 技	男子200m バタフライ	C 3	神 偉 晴	2位	日程：令和5年8月25日(金) ～26日(土) 会場：アクアウイング・アリーナ (長野運動公園総合運動場 総合市民プール)
	男子200m 個人メドレー	Z 3	奥谷 航 大	3位	
	男子100m 背泳ぎ	Z 2	小笠原 琉 衣	3位	
	男子200m 平泳ぎ	M 1	引木 優 介	2位	
	男子100m 平泳ぎ	M 1	引木 優 介	2位	



「保護者の声」設置について

保護者と学校の連携を密にし、よりよい教育を推進するため、下記のとおり「保護者の声」を設置しております。

お子さんの就学上のこと、学校に対する要望、ご意見など、無記名で結構ですので、郵便・電話・FAX・e-mail等で随時下記の連絡先までお寄せください。

《連絡先》

八戸工業高等専門学校 総務課総務係
TEL 0178-27-7223 FAX 0178-27-9379
e-mail: somu-o@hachinohe-ct.ac.jp

授業料等の納付について

後期分授業料の口座振替を、10月26日(木)に行います。(就学支援金額未決定者、授業料免除申請者を除く)

寮生は、10月～3月の寄宿料及び学寮運営費も併せて振替になります。

金額を確認のうえ、振替日前日までに届出口座にご準備ください。

単位：円

授業料		寄宿料		学寮運営費		振替手数料
1～3年	4年～	複数室	個室	一般寮	混住型国際寮	
117,300	*2 117,300	4,200	4,800	*3 92,800	*3 119,900	68
*1 57,900						

*1 就学支援金受給対象者の例(加算支給なしの場合)

*2 授業料免除申請者(高等教育の修学支援新制度を含む)は、免除決定額に応じて減額・免除となります。

*3 学寮運営費の金額は変更となる可能性があります。

授業料等を期日(前期分9月、後期分3月)までに納付しない者は、授業料等未納により除籍などの処分になる場合がありますので、ご注意ください。

【問い合わせ先】総務課財務係 TEL 0178-27-7228

学生課学生係からのお知らせ

令和2年4月から実施された高等教育の修学支援新制度に本校も対象となっております。本科4年生以上の学ぶ意欲がある学生で、家計の収入等の要件を満たす場合には、支援区分に応じて、入学金及び授業料の減免と給付奨学金による経済的支援を受けることができます。

秋頃に日本学生支援機構が二次採用を行う予定となっておりますので、日程等の詳細が分かりましたら学校HPや学生掲示板等で周知しますのでご確認をお願いいたします。

また、現在申請可能な奨学金等の各種経済支援

につきましても学校HPや学生掲示板等で随時更新しておりますので、併せてご確認をお願いいたします。

【各種経済支援関係問い合わせ先】

学生課学生係 TEL 0178-27-7235

令和5年度 公開講座

- (1) ロケットはなぜ飛ぶか
～PETボトルロケットコンテスト～
日 時：7月8日(土)
対 象：小学生、中学生
(小学校3年生以下は保護者同伴)
- (2) 「英語」を学び直そう
～TOEICスコアアップに向けたトレーニング～
日 時：9月30日(土)、11月4日(土)
対 象：一般市民
- (3) マイコンを使ったプログラミング体験
日 時：9月30日(土)
対 象：小学校5年生以上と中学生
(小学生は保護者同伴)
- (4) メカnoワールド体験塾 Aコース
日 時：10月7日(土)
対 象：中学生、中学校教員
- (5) 化学の学校
日 時：10月15日(日)、10月22日(日)
対 象：青森県内および岩手県北の小中学生
- (6) 水の浄化実験
日 時：10月28日(土)
対 象：中学生、保護者、中学校教員
- (7) メカnoワールド体験塾 Bコース
日 時：11月4日(土)
対 象：中学生、中学校教員
- (8) ペーパーブリッジをつくろう
日 時：11月11日(土)
対 象：中学生、保護者、中学校教員
- (9) まちなか文化祭
日 時：12月9日(土)
対 象：一般市民

※参加人数等により、中止または内容等を変更する場合があります。

